

平成28年度 行政評価事業別シート

	<input type="checkbox"/>	評価対象	<input checked="" type="checkbox"/>	新規	<input type="checkbox"/>	完了事業	<input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業	<input type="checkbox"/>	担当者	稲玉 茶希
	全体計画				経費区分		-		内線		3615
事務事業名	4274 学校保健事業										
所 属	300100 教育委員会事務局・学校教育課										
施 策	02010700 特色ある魅力的な学校づくりの推進										
予算 科目	会計	01 一般会計									
	科目	100701 教育費・保健体育費・保健体育総務費									
	事業	030000 学校保健事業									
事業目的						事業概要・効果					
学校内の環境衛生を整え、伝染病予防等を図る。 また、学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付が受けられるようにする。						学校では児童・生徒等の災害を起こさないことが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童・生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする					

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 予定
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
平成29年度 予定	平成30年度 予定
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施
平成31年度 予定	平成32年度 予定
学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施	学校内の環境衛生整備、伝染病予防等の啓発等の実施 学校管理下における児童・生徒の災害（負傷・疾病等）時に必要な給付手続きの実施

指標名	無し					
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						
指標名						
算式						単位
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	平成32年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由						
最終年度目標の根拠						

事業費

(単位：千円)

		平成27年度 決 算	平成28年度 予 算
事業費		8,962	8,820
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	5	0
一般財源		8,957	8,820
人員数(人)	正規職員	0.5	0.5
	嘱託職員	0.0	0.1
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	3,604.0	3,604.0
	嘱託職員	0.0	270.5
	臨時職員	0.0	0.0
	計	3,604.0	3,874.5
市民一人当たりの経費		0.2	0.2
総額		12,566.0	12,694.5

(単位：千円)

平成27年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	4,096	消耗品、印刷製本費、医薬材料費
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,099	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金、県都市学校保健会負担金
その他	767	手数料

(単位：千円)

平成28年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	0	
11節 需用費	0	
13節 委託費	0	
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	4,188	日本スポーツ振興センター共済掛金負担金、県都市学校保健会負担金
その他	4,632	手数料

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	学校内の環境衛生を整え、伝染病予防等を図る。また、学校管理化における児童生徒の災害時（負傷、疾病等）に必要な給付が受けられるようにする。	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	学校では児童生徒等の災害を起こさないことが肝心であるため、学校の環境衛生を整えるなど安全管理部分を充実させ、学校が教育の場として、また多数の児童生徒が集団生活をする場にふさわしく最も健康・安全に適した場所となるようにする。	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	児童生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施している。	

振り返り（決算年度の取組み課題）

児童生徒の保健衛生の保持及び災害共済の給付を適切に実施することができた。

ACTION

1次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

総合評価コメント

継続的に実施

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
-----------	------------

2次評価コメント

学校内の環境衛生整備や伝染病予防等の啓発等の実施、児童・生徒の災害時の対応は必須であり、継続した事業実施が必要である。

外部評価

次年度以降の方向性	
-----------	--

外部評価コメント

--